

復興に駆ける！

第 30 号
平成 26 年 6 月 13 日発行
岩手県立
生涯学習推進センター
TEL 0198 - 27 - 4555

◇ 今回はこちらの方を紹介します。

一般社団法人 ソーシャルデザインラボ お世話係 木津川 正芳(きつかわ まさよし) さん



木津川さん

「ソーシャルデザインラボ」の木津川さんは、「しえあハート村」の学生寮のお世話係をしている。(※平成 23 年度は「SAVE IWATE」所属)

「しえあハート村」は、盛岡市が東日本大震災復興推進のための拠点として設置したもので、沿岸部からの学生が無料で入居できるシェアハウス棟(学生寮)、ボランティアのための宿泊棟、復興支援団体のシェアオフィス棟、復興推進デジタルコンテンツシェアオフィス棟がある。元々は盛南

地区開発の区画整理の対象となった地域の方たちの仮住いの場所として、独立行政法人都市再生機構が 25 棟を整備したものであった。区画整理終了に伴い、建物を取り壊して公園整備をする計画であったものを変更し、市へ無償譲渡され、平成 25 年 5 月に「しえあハート村」として開村した。

入居学生は 24 年度に 7 名、25 年度に 17 名、今年度は 25 名と毎年増えており、1 棟に 4、5 人の学生が入居し、それぞれに個室も設けられている。毎月 1 回は学生同士の交流を図るため食事会を開催し、学生たちと一緒に調理、食事を楽しみながら、悩みや相談を聞いている。沿岸部を離れて生活している学生たちが、少しでも安心して過ごすことができるようにと、親のような気持ちで接するようにしている。また、町内会の方々にも広く見守ってもらえるように、学生たちには町内会に入会してもらい、地域との交流が深まるようにしている。昨年「しえあハート村」で夏祭り、文化祭、3.11 追悼式を開催した。夏祭りには、地域の方はもちろんのこと、市内外から 1,000 人を越える参加者があった。

木津川さんは、草の根市民運動「モーリオの空」事務局長として、村内にある復興支援コミュニティカフェ「マルシェ」も運営し、学生と地域の方との交流を積極的にサポートしている。

開村から 1 年を迎えたこの「しえあハート村」だが、契約は平成 28 年度までとなっている。沿岸被災地の学生が安心して通学でき、地域の方々が気軽に立ち寄ることができることによって活動の広がりを見せているこの場所が、今後 3 年間でどのように展開していくのが大変楽しみである。これからも追跡していきたい。(※5月7日、しえあハート村センターハウスにて三橋が取材)

連絡先

ソーシャルデザインラボ

TEL 019-601-5043

Email : share.mori@gmail.com